スタートアップガイド

hp workstation xw8000

Manufacturing Part Number : 308298-291

2002 年 10 月

ご注意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 本書は内容について細心の注意をもって作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がございましたら当社までお知らせください。
3. お客様の誤った操作に起因する損害について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 当社では、製品の特定の目的に対する適合性、市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。
5. 当社提供外のソフトウェアの使用や信頼性についての責任は負いかねます。
6. 本書の内容の一部または全部を、無断でコピーしたり、他のプログラム言語に翻訳することは法律で禁止されています。
7. 本製品パッケージとして提供した本マニュアル、フレキシブルディスクまたはテープカートリッジ等の媒体は本製品に対してのみお使いください。プログラムのコピーはバックアップを目的とする場合に限ります。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

HEWLETT-PACKARD COMPANY
3000 Hanover Street
Palo Alto, California 94304 U.S.A.

日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒 140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

出版履歴

マニュアルの出版の日付および部品番号は、現在の版を示します。出版の日付は、最新版ができるたびに変更します。内容の小さな変更に対しては、増刷の際に対応し、出版日の変更は行いません。マニュアルの部品番号は、改訂が行われるたびに変更します。

新版の作成は、記載内容の訂正またはドキュメント製品の変更にともなって行われます。HP サポート Web サイト (**www.hp.com/go/bizsupport** (英語)、**www.jpn.hp.com/go/manual**(日本語)) に掲載されているマニュアルは、頻繁にアップデートされます。定期的に Web サイトを参照して、最新のバージョンを入手してください。お手元のマニュアルが最新のものか否かは、担当の当社営業に確認してください。

第 1 版 ..... 2002 年 10 月

Printing Division:

Hewlett-Packard Co.
Workstations Division
3404 E. Harmony Rd.
Fort Collins, CO 80525

日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒 140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

原 典

本書は、『*Getting Started Guide HP Workstation xw8000*』(HP Part No. 308298-001) を翻訳したものです。

目次

1. ワークステーションのセットアップおよび使用法

ワークステーションのセットアップ 16
ワークステーションの準備 16
グラフィックカードの取り付け 16
コンポーネントの接続 16
LAN 接続 20
電源コードの接続. 20
ワークステーションの起動とシャットダウン. 21
ワークステーションの初回起動時 21
追加のシステムソフトウェアのインストール 23
システム修復ディスクの作成. 23
ワークステーションの起動 23
ワークステーションのシャットダウン 25
ワークステーションの使用方法 26
コントロールパネルについて. 26
マウスとキーボードの使用方法 27
ワークステーションの構成 30
ワークステーションの構成表示. 30
Setup プログラムの使用方法. 31
Setup プログラムのメニュー. 31
パスワードの設定. 33
パスワードの削除. 33
電源管理の使用 34
オプティカルドライブのアプリケーションソフトウェアのロード. 35
ビデオカードとモニターの構成. 36

2. トラブルシューティング

共通的な問題の解決 38
ワークステーションが正常に起動しない. 39
ハードウェアの問題. 41
パスワードを忘れた場合 46
E ブザーのビープコード 47
Diagnostics for Windows の使用方法. 50
Diagnostics for Windows のインストール 51
Diagnostics for Windows の実行 51
診断テスト情報の生成 52
OS とソフトウェアを CD から復元 53
ワークステーションのハードウェア特性 54

目次

サポートを受けるには. 55
関連資料 55

A. 規制に関する情報

規制に関する情報 59
Federal Communications Commission Radio Frequency Interference Statement (for USA only) 59
電源について 62

索引 63

表一覧

表 2-1. ワークステーションが正常に起動しない 39
表 2-2. キーボードとマウスの問題 41
表 2-3. ビデオの問題 42
表 2-4. オプティカルドライブの問題 43
表 2-5. オーディオの問題 45
表 2-6. E ブザーのビープコード 47
表 2-7. ワークステションのハードウェア特性 54

表一覧

図一覧

図 1-1. xw8000 背面パネルのコネクタ 18
図 1-2. xw8000 前面パネルのコネクタ 19
図 1-3. xw8000 前面コントロールパネル 26
図 1-4. HP Easy Access キーボード 27

図一覧

安全に関する重要な警告

感電の防止

警告

感電を防ぐため、電源装置を開けないでください。電源装置内部をお客様が直接修理することはできません。

感電およびレーザー光による眼球の損傷を防止するため、CD/DVD レーザーモジュールは開けないでください。レーザーモジュールの点検・修理は、保守担当者以外行えません。電力要件および波長については、CD/DVD ドライブに記載のラベルを参照してください。この製品は、クラス 1 のレーザー製品です。

カバーの取り外しと取り付け

警告

安全のため、システムのカバーを取り外す際には必ず電源コードをコンセントから抜き、通信ネットワークへの接続ケーブルをすべて取り外してください。システムに電源保護装置が取り付けられている場合は、コンピュータをシャットダウンしてから、オン / オフスイッチを使用し、電源コードを抜いた後システムのカバーを取り外します。必ず、電源保護装置のケーブルを取り外してから保守作業を行ってください。システムの電源を入れる前には、必ずカバーを取り付けてください。

バッテリーの安全に関する情報

警告 **電池は正しく装着してください。破裂する危険性があります。安全のため、使用済みの電池を充電または分解したり、火気に近づけたりしないでください。電池を交換する場合は、同一または同等タイプのメーカー推奨の電池を使用してください。**

システムに内蔵されている電池はリチウム電池で、重金属は含有していません。しかし、環境保護のため電池は一般の廃棄物として捨てないでください。使用済みの電池は、電池の販売店、システムの取り扱い店、または当社に返却してください。リサイクルや適切な方法による廃棄が行われます。

火傷の防止

警告 **コンピュータ内の部品は高温になっていることがあります。手を触れる際には、部品の温度が下がるまでお待ちください。**

静電気の防止

注意 静電気により電子部品が損傷することがあります。アクセサリカードを取り付ける際には、すべての機器の電源をオフにしてください。また、衣服がアクセサリカードに触れないようにご注意ください。静電気の影響を避けるため、アクセサリカードを梱包用のビニール袋から取り出す際には、袋ごとシステムの上面に置き、シャーシの金属部分に接触させた状態でアクセサリカードを取り出してください。必要以上にカードに触れないようにし、慎重に取り扱ってください。

人間工学に関する情報

www.hp.com/go/bizsupport にアクセスし、『快適に作業を行うために』または『快適に使用していただくために』をご覧ください。

システムのリサイクル

HP は、環境問題に対して積極的に取り組んでいます。HP システムには最大限環境に配慮した設計を行っており、また、耐用期間が終了したシステムに対してはリサイクル処理を行っています。製品の回収制度は、現在数カ国で実施されています。回収された機器は、HP ヨーロッパ、アメリカなどの HP のリサイクル施設に送られたのち、再利用可能な部品が取り出され、残りの部分に対しては再生処理が施されます。当社では、電池をはじめ、有害物質には特別な処置のもと、特殊化学処理を経て、無害な成分に還元しています。当社の製品回収制度に関する詳細は、最寄りの販売店または当社の営業所までお問い合せください。

1 ワークステーションのセットアップおよび使用法

ワークステーションのセットアップ

警告 **ワークステーションやモニターを安全に持ち上げられそうもない場合は、一人で移動しようとしないでください。**

ワークステーションの準備

1. コンポーネントをすべて開梱します。
2. モニターは、電源コンセントが近くにあり、キーボード、マウス、その他のアクセサリを置くのに十分な広さがある頑丈な机に設置します。
3. ワークステーションは、頑丈な机または床上で、背面のコネクタが操作しやすい場所に置きます。ワークステーションは、周辺装置とケーブルで接続できる位置に設置してください。

取り付け工具

基本的なセットアップでは、工具は必要ありません。

グラフィックカードの取り付け

HP ワークステーションでは、主要なグラフィックスカードをサポートしています。使用できるカードについては、**http://www.jpn.hp.com/biz/products/workstation/programs/leadership_graphics/index.html** をご覧ください。

ビデオカードは、あらかじめシステムに取り付けられている場合と、別途梱包されシステムと一緒に出荷される場合があります。

ワークステーションの出荷時にグラフィックスカードが取り付けられていない場合は、グラフィックスカードを取り付け、ドライバをロードする必要があります。その手順については、グラフィックスカードに付属の説明書を参照してください。

コンポーネントの接続

コードやケーブルをワークステーションに接続する前に、11 ページの「安全に関する重要な警告」をお読みください。

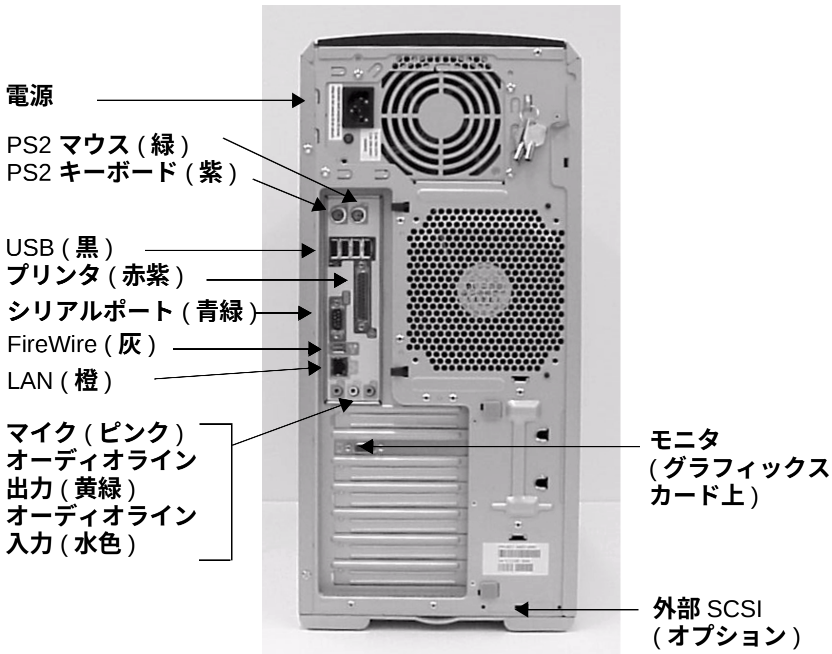
ワークステーションの前面と背面のパネルにはコネクタがあります。ケーブルを接続するときは、ケーブルのコネクタの色とパネル側の色とを合わせてください。また、コネクタは一定方向以外には接続できないようになっています。

システムの背面パネルには次のコネクタがあります。

- 電源
- マウス (PS2)
- キーボード (PS2)
- USB × 4
- シリアルポート
- パラレルポート
- IEEE-1394 (FireWire)
- LAN
- オーディオライン出力
- オーディオライン入力
- マイク
- モニタ (グラフィックスカード上)

- 外部 SCSI コネクタ (オプション)

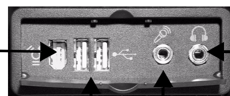
図 1-1　　xw8000 背面パネルのコネクタ



ワークステーションの前面パネルには次のコネクタがあります。

- USB × 2
- オーディオライン出力 (スピーカまたはヘッドホン)
- マイク
- IEEE-1394 (FireWire)

図 1-2　　xw8000 前面パネルのコネクタ



以下の順番にコンポーネントを接続します。

1. ディスプレイケーブルをモニタとグラフィックスカードのコネクタに接続します。付属のねじは軽く締めます。

注記	注文したグラフィックスカードと、モニタがアナログかデジタルかによって、DVI-VGA アダプタが必要になる場合があります。

2. マウスとキーボードを、システムの背面パネル上のポートにそれぞれ接続します。
3. プリンタがある場合は次のように接続します。
   - プリンタにパラレルコネクタがある場合は、プリンタケーブルを背面パネルのパラレルポートに接続し、付属のねじをしっかり締めます。
   - プリンタに USB コネクタがある場合は、プリンタケーブルを背面パネルの USB コネクタに接続します。

   シリアルデバイスは、シリアルポートに接続します。
4. USB のアクセサリは、前面パネルまたは背面パネルの USB コネクタに接続します。
5. マイク、ヘッドホン、およびスピーカは、前面パネルまたは背面パネルのオーディオポートに接続します。

注記 前面パネルまたは背面パネルのライン出力ジャックに、スピーカまたはヘッドホンを接続すると、内部のスピーカは動作しないようになっています。

LAN 接続

ワークステーション付属の 10BT/100TX LAN オートセンシング (自動検知) インタフェースアダプタは、10Mbps と 100Mbps の両方の速度をサポートしています。

ネットワークケーブルを、システムの背面パネルの LAN コネクタに接続します。

電源コードの接続

警告 **安全のため、必ずアース付きの壁コンセントに装置を接続してください。電源コードには、この装置に付属しているアース付きプラグのコードを必ず使用してください。ワークステーションへの電源を切断するには、電源コードをコンセントから外す必要があります。そのため、電源コードを容易に外せるように、装置を電源コンセントの近くに設置してください。**

1. それぞれの電源コードをモニターおよびワークステーションの背面に接続します。
2. それぞれの電源コードをアース付きコンセントに差し込みます。

ワークステーションの起動とシャットダウン

ワークステーションの初回起動時

ワークステーションには、Windows 2000 または Windows XP がプリインストールされています。ワークステーションを最初に起動したときに、ソフトウェアが初期化されます。この初期化には数分かかります。この初期化中にソフトウェアがセットアップされ、コンピュータにインストールされているハードウェアが使用できるようになります。なお、ソフトウェアが初期化された後でも設定は変更できます。

1. モニターの電源と、システムに接続されている端末機器の電源を入れます。

注意 端末機器によっては、デバイスを接続する前にドライバをインストールする必要があります。詳細は端末機器付属の説明書を参照してください。

2. ワークステーションの前面パネルの電源ボタンを押します。ワークステーションを起動すると、以下の処理が行われます。
   - ワークステーションのロゴが表示されている間に、電源投入時の自己診断 (POST) が実行されます。自己診断の詳細を表示するには、[Esc] キーを押します。POST でエラーが検出された場合は、エラーが自動的に表示されます。
   - POST が完了した後、自動的にソフトウェアが初期化されます。

注意 ソフトウェアの初期化中は、ワークステーションの電源を切らないでください。

3. 画面の指示があったら、ワークステーションの言語を選択します。

4. ワークステーションをカスタマイズします。

Windows 2000 Professional では、「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」が表示されます。画面の指示にしたがって以下の操作を行います。

- Microsoft のライセンス契約に同意します。
- ワークステーションと地域の設定をするために、キーボード、時間帯、および地域を選択します。
- ユーザー名と組織の識別名 を入力します。
- 日付、時間、時間帯を設定します。

Windows XP Professional では、「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されます。以下の操作を行います。

- 地域、言語、およびキーボードを選択します。
- 時間帯を選択します。
- Microsoft エンドユーザーライセンス契約 (End User License Agreement: EULA) に同意します。
- ワークステーションのコンピュータ名を選択します。
- インターネット接続を設定します。または、ここを保留して次のセクションに進みます。
- Microsoft に登録します (オプション)。
- 画面の指示にしたがい、[完了] をクリックしてワークステーションを再起動します。システムの再起動後、ログインできるようになります。

追加のシステムソフトウェアのインストール

システムソフトウェアには、ワークステーションのハードドライブにあらかじめロードされているものと、そうでないものがあります。

システムソフトウェアのインストールは次の手順で行います。

1. 次のようにして InstallShield® ウィザードを起動します。

   Windows 2000 Professional では、デスクトップの [**セットアップ**] アイコンをダブルクリックします。

   Windows XP Professional では、[**スタート > すべてのプログラム > Software Setup**] を選択します。

2. 画面の指示にしたがって、希望のアプリケーションまたは次のドライバをインストールします。

   - Diagnostics for Windows (オンライン診断)
   - Logitech® Mouseware® (マウスドライバ)

システム修復ディスクの作成

オペレーティングシステム用のシステム修復ディスクを作成しておくことは非常に重要です。これには、未使用の新しいディスクを使用してください。

詳細は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

ワークステーションの起動

起動中に次の 3 つの機能を利用できます。

- **Instant Boot メニュー**
- **POST と Setup 中のキー操作**
- **Windows のブートオプション**

Instant Boot メニュー

Instant Boot メニューを使えば、Setup プログラムを実行せずに、しかもシステムを再起動しなくてもブートデバイスを選択できます。選択はこのブートでだけ有効です。つまりセットアップで設定したブート順序は変更されません。

ブートオプションの選択は以下のようにして行います。

- HP のスプラッシュ画面が表示されたときに [**F8**] キーを押します。

この画面にはブートデバイスとして許容されているデバイスだけが表示されます。たとえば、管理者が Setup プログラムで「boot from floppy」オプションを無効にしていた場合は、フロッピードライブは Instant Boot メニューにはリストされません。

POST と Setup 中のキー操作

POST Welcome 画面 (HP ロゴ) には次の選択が表示されます。

- **Esc** — Summary。POST 中に [Esc] を押した場合、OS をロードする前に BIOS から構成の概要情報が表示されます。
- **F2** — Setup (セットアップ)
- **F8** — Boot Order (ブート順序)
- **F12** — Forced Network Boot (強制ネットワークブート)

警告またはエラーが発生した場合は、次のオプションも使用できます。

- **F1** — Continue (継続)
- **Enter** — View Errors (エラー表示)

Windows Boot オプション

Windows でも、用意されているブートモードを選択して使用することができます。

- 画面の下に「**Windows を起動しています ...** 」というメッセージが表示されているときに、[**F8**] を押します。

ワークステーションのシャットダウン

ワークステーションをシャットダウンする手順は次のとおりです。

1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. ワークステーションを次のようにシャットダウンします。
    - 電源ボタンでシステムをシャットダウンするようにプログラムしている場合は、電源ボタンを押します。Windows が終了してからシステムの電源がオフになります。
    - 電源ボタンでシステムをシャットダウンするようにプログラムしていない場合は、[**スタート -> シャットダウン**] の順に選択します。シャットダウンのオプションがリスト表示されます。

      オプションの 1 つを選択して [**OK**] をクリックします。

注意 電源を切るときは、必ずオペレーティングシステムから操作してください。システムをオペレーティングシステムからシャットダウンできないなどの場合を除き、電源ボタンやリセットボタンを使って電源を切らないでください。電源ボタンやリセットボタンで電源を切ると、開いているアプリケーションの未保存のデータが失われます。スタンバイや休止モードなどのシャットダウンオプションの詳細は、34 ページの「電源管理の使用」を参照してください。

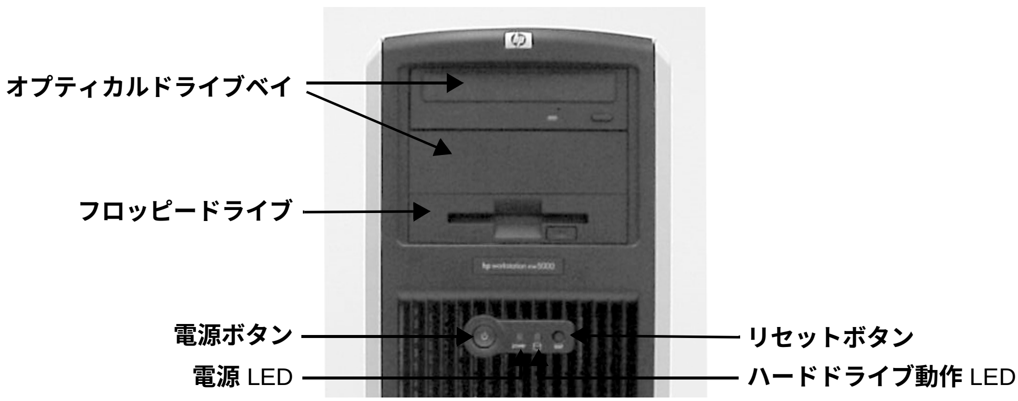
ワークステーションの使用方法

コントロールパネルについて

ワークステーションの前面にあるハードウェアコントロールパネルには、次のような機能があります。

- オプティカルドライブ
- フロッピードライブ
- 電源オン / オフボタン
- リセットボタン
- 電源 LED
- ハードドライブ動作 LED

図 1-3 xw8000 前面コントロールパネル



電源オン / オフボタン: このボタンを押してワークステーションを起動します。また、休止モードまたはスタンバイモードにあるワークステーションを元に戻す場合にも、このボタンを押します (4 秒未満)。このボタンを 4 秒以上押し続けると、ワークステーションの電源がオフになりますので注意してください (25 ページの「ワークステーションのシャットダウン」参照)。

電源 LED はシステムの状態を表示します。

- 緑色の点灯は、システムが動作中であることを示します。

- 黄色の点灯は、ワークステーションがスタンバイモードまたは休止モードにあることを示します。
- 黄色の点滅、赤色の点滅、赤色の点灯は、システムエラーが発生していることを示します。

リセットボタン: このボタンを押すと、システムの電源をオフにして再度オンにしなくても、すべてのハードウェアを再初期化することができます (ソフトブート)。このボタンは、ファイルを壊すことがありますので、普段は使用しないでください。マシンをリセットするには、通常は OS のシャットダウンコマンドを実行してください。

ハードドライブ動作 LED : ハードドライブがアクセスされているときに点滅します。

マウスとキーボードの使用方法

ワークステーションには、Easy Access キーボードが付属しています。次の図は、キーボード上のライトと特殊ファンクションキーの位置を示しています。

図 1-4 HP Easy Access キーボード



特殊ファンクションキー

Easy Access キーボードには、次の特殊ファンクションキーがあります。

- *[Ctrl]* キー。 別のキーと組み合わせて使い、その機能は使用しているアプリケーションソフトウェアによって変わります。
- *[Windows ロゴ]* キー 。 他のキーと組み合わせることにより、各種の機能を実行します (29 ページの「Windows ロゴキー」参照)。
- *[Alt]* キー。 別のキーと組み合わせて使い、その機能は使用しているアプリケーションソフトウェアによって変わります。

- アプリケーションキー (一部の地域でのみ使用可能)。Microsoft Office アプリケーションでは、右マウスボタンと同じようにポップアップメニューを開きますが、他のアプリケーションソフトウェアではこれとは異なる機能を実行することがあります。
- *Easy Access* キー。　このキーを使えば、お気に入りの Web サイト、アプリケーション、サービスなどにすばやく簡単にアクセスできます。
- *編集*キー。　Insert、Home、Page Up、Delete、End、および Page Down の各キーがあります。

注記　　コンピュータを再起動するには、**Ctrl**、**Alt**、**Delete** を一緒に押します。

キーボードには以下のインジケータがあり、それぞれの機能のオン / オフを示します。

- *Num Lock*
- *Caps Lock*
- *Scroll Lock*

Easy Access ソフトウェア

Easy Access キーボードボタンは、デフォルトの割り当てになっています。インストール済みの Easy Access ソフトウェアを使えば、Easy Access ボタンをユーザーの好みに合わせてプログラムし直すことができます。ボタンを任意のプログラムやサービス、Web サイト (URL) に割り当てることができます。

Easy Access ボタンの再プログラミングとロック

Easy Access キーボードアイコンは、Windows デスクトップのステータスバーにあります。Easy Access ボタンはプログラム可能になっています。

Easy Access ボタンのプログラミングについては、次のヘルプファイルを参照してください。
C:\Program Files\COMPAQ\Easy Access Button Support\CPQEAUI.hlp

Easy Access ペーパーアイコン挿入

ペーパーアイコン挿入は、Easy Access ボタンがそれぞれどのように割り当てられているかを表示します。Easy Access ボタンをプログラムするときは、Paper Insert テンプレートの説明書を参照して、新しいボタン割り当てを反映するアイコンの選択 / 表示を行います。Paper Insert Template.doc は次の場所にあります。
C:\Program Files\COMPAQ\Easy Access Button Support

Windows ロゴキー

Windows ロゴキーを他のキーと組み合わせて、特定の機能を Windows で実行させる際に使用します。

- **Windows ロゴキー + F1** は、選択されたオブジェクトのポップアップメニュを表示します。
- **Windows ロゴキー + Tab** は、次のタスクバーボタンを有効にします。
- **Windows ロゴキー + E** は、Explore のマイコンピュータを起動します。
- **Windows ロゴキー + F** は、Find Document (ドキュメントの検索) を起動します。
- **Windows ロゴキー + Ctrl + F** は、Find Computer (コンピュータの検索) を起動します。
- **Windows ロゴキー + M** は、開いているアプリケーションをすべて最小化します。
- **Shift + Windows ロゴキー + M** は、Minimize All (すべてを最小化) を取り消します。
- **Windows ロゴキー + R** は、Run (実行) ダイアログボックスを開きます。

ワースステーションには、次のような PS2 対応 3 ボタンスクロールマウス が付属しています。

- 標準 PS2 インタフェース
- Windows XP と Windows 2000 互換
- プログラム可能な Internet スクロールホイール

ワークステーションの構成

BIOS セットアッププログラムを使用し、ワークステーションについて次のような構成を行います。

- BIOS にアクセスする管理者とユーザーのパスワード設定

注記	これらは、Windows のログイン用パスワードでは**ありません**。31 ページで説明する Setup プログラムのメニューへのアクセスを制限する目的のみに使用されます。

- システムのブート順序の変更
- 構成上の問題の解決

システムに変更を加えた場合は、後で参照できるように、すべて記録しておくようお勧めします。

ワークステーションの構成表示

Summary 画面にワークステーションの現在の構成概要 (BIOS バージョン、CPU の種類、メモリーモジュールのサイズ、インストール済みの大容量記憶装置) を表示させることができます。

初めてワークステーションを使用する場合、およびアクセサリの取り付けや取り外し、アップグレードした場合は、必ず構成を確認してください。

構成を確認するには次のようにします。

1. 25 ページの「ワークステーションのシャットダウン」の説明にしたがって、ワークステーションをシャットダウンします。
2. ワークステーションを再起動します。
3. 画面に起動時のロゴが表示されたら、[Esc] を押します。Summary 画面に構成情報が短時間表示されます。

Setup プログラムの使用法

Setup プログラムは次のようにして起動します。

1. ワークステーションを起動 (または再起動) します。
2. 画面の下に **F2 Setup** が表示されたら **F2** キーを押します。

注記 **F2** キーを押すタイミングが間に合わず、起動プロセスが続行された場合は、システムのブートが終わるのを待ってから、ワークステーションを再起動し、もう一度 POST から実行させます。

Setup プログラムでは次の処理が行われます。

- メインメニューでは、インストールされている BIOS のバージョンや日時などのフィールドのリストが表示されます。
- 画面上部のバーに、メニューのリストが表示されます。その中から、右矢印または左矢印を使用して、以下に示すメニューのどれかを選択します。
- 画面下部のバーに、キーボードからメニューを指定する方法が帯状に表示されます。

Setup プログラムのメニュー

メインメニューでは次のことができます。

- BIOS バージョンの表示
- 構成データのリセット
- システム時刻の設定
- システム日付の設定

デフォルトでは "Reset Configuration Data"（構成のリセット）は [**No**] に設定されています。構成をリセットした場合、BIOS は保存されている構成を使用せずに、すべてのデバイスに対しリソース割り当てを行います。

Advanced メニューでは、以下の項目の表示や構成が行えます。

- プロセッサスピード
- チップセットの拡張機能
- PCI カード
- AGP (Advanced Graphics Port) ビデオカード
- 以下の機器の設定
  - — フロッピーディスクドライブコントローラ
  - — IDE コントローラおよび取り付けられた IDE デバイス
  - — SCSI コントローラ (オプション)
  - — 10/100BT ネットワークインタフェース
  - — シリアルポートとパラレルポート
  - — オーディオコントローラ

Security メニューでは、以下の操作ができます。

- システム管理者パスワード、ユーザーパスワード、電源投入時パスワードの変更または設定 (33 ページの「パスワードの設定」参照))
- 許可されていないフロッピー、CD-ROM 、および IDE ドライブからの起動を禁止
- 許可されていないフロッピードライブの使用を禁止
- プラグアンドプレイオペレーティングシステムによる BIOS の設定変更の禁止
- 許可されていないブートセクタの変更を禁止

Boot メニューでは、BIOS がオペレーティングシステムを起動するとき、どのデバイスから行うか、その順序を選択します。QuickBoot モードオプションを選択すると、ブート時のテストが一部省略されます。これにより、システムの起動時間が短縮されます。

Power メニューでは、リモートパワーオンを有効にできます。AC 電源異常が発生した場合の動作モードを設定することもできます。

パスワードの設定

パスワードを設定して、ワークステーションにさまざまな保護レベルを設定することができます。

Setup プログラムの Security メニューを使用すると、以下のように設定することができます。

- 管理者は、Setup プログラムのすべての設定にアクセスして変更することができます。一般ユーザーは、Main メニューの中の特定の項目に対してのみアクセスと変更ができます。
- Power-on Password オプションを有効にして、ワークステーションの起動時に常にパスワードを要求させることができます。

注記 ユーザーパスワードを設定する前に、管理者パスワードを設定しておく必要があります。

パスワードの設定手順は次のとおりです。

1. ワークステーションを起動し、メッセージの表示中に [**F2**] を押して Setup ユーティリティを開きます。
2. [**Security -> Set Administrator Password**] または [**Security -> Set User Password**] を選択します。
3. パスワードを要求されたら入力し、確認のためもう一度入力します。
4. [**Exit -> Exit Saving Changes**] を選択します。

パスワードの削除

パスワードを削除する手順は次のとおりです。

1. ワークステーションを起動し、メッセージの表示中に [**F2**] を押して Setup ユーティリティを開きます。
2. [**Security -> Clear All Passwords**] を選択します。
3. [**Exit -> Exit Saving Changes**] を選択します。

電源管理の使用

電源管理を使用すると、ワークステーションが待機状態である場合、動作速度を遅くして、ワークステーション全体の消費電力を低減することができます。消費電力の詳細は、Web サイト (**www.hp.com/go/bizsupport**) にある『hp workstation xw8000 Technical Reference Guide』を参照してください。

オペレーティングシステムによって電源管理機能が異なります。Windows 2000 と Windows XP では、次の 2 つの電源管理モードから選択できます。

- **スタンバイ**では、プロセッサが停止した低電力状態にありますが、プロセッサ以外には電源が入っています。ワークステーションをスタンバイモードから回復させる場合は、RAM の内容を復元する必要がないため、休止モードから回復する場合よりも速く戻ります。しかし、スタンバイモードではメモリには電源が入っているため、休止モードよりも消費電力が多くなります。
- **休止モード** では、マシンの電源がオフになっている場合と同様の状態になります。ただし、休止状態になる前の状態を記憶しているため、オペレーティングシステムを完全にブートすることなく回復できます。これは、休止状態になる前に、オペレーティングシステムによって RAM の内容をハードドライブの特別な場所にコピーしているためです。休止モードをシャットダウンの選択肢に加えるには、コントロールパネルの電源オプションで休止モードを有効にしておく必要があります。

ワークステーションがいずれのモードにある場合でも、元の状態に戻すには電源ボタンを押します (4 秒未満)。

電源管理の設定を変更するには、次のようにします。

1. 電源管理のコントロールパネルを開きます。
   - *Windows 2000 Professional* では、[**スタート -> 設定 -> コントロールパネル**] を選択し、[**電源オプション**] をダブルクリックします。
   - *Windows XP Professional* では、[**スタート -> コントロールパネル**] を選択し、[**電源オプション**] をダブルクリックします。
2. 適切な設定を行います。

電源オプションの変更については、お使いのオペレーティングシステムの説明書を参照してください。

オプティカルドライブのアプリケーションソフトウェアのロード

hp workstation xw8000 では、次に示すようなオプティカルドライブを使用できます。これらを動作させるには、それぞれのソフトウェアやドライバが必要です。

- CD-ROM
- CD-RW
- DVD-ROM
- DVD+RW

CD-ROM

ドライバはすべてあらかじめロードされています。追加のソフトウェアは不要です。

DVD、CD-RW および DVD+RW

ムービーの再生 — ワークステーションに DVD ドライブまたは DVD+RW ドライブがある場合は、ムービーを再生する前に、システム付属の CD から HP アプリケーションとドライバをインストールする必要があります。

ディスクへの書き込み — ワークステーションに CD-RW ドライブまたは DVD+RW ドライブがある場合は、ドライブの書き込み / 再書き込み機能を使用する前に、システム付属の CD から HP アプリケーションとドライバをインストールする必要があります。

注記　ドライブを読み込み専用で使う場合は、ドライバは不要です。

1 つのシステムに CD-RW と DVD+RW の両方をインストールすることはできません。

これらのアプリケーションをインストールするには、次のようにします。

1. ワークステーション用の最新 IDE ドライバを **http://www.hp.com/go/bizsupport** からダウンロードしてインストールします。
2. 次のように、インストールプログラムを実行します。
    a. アプリケーション CD を CD-RW または DVD+RW ドライブに挿入します。
    b. インストールウィンドウが表示されたら次のようにします。
        - [**Start Installation**] をクリックして、ソフトウェアのインストールウィザードを動作させます。
        - 必要に応じ [**Change Language**] をクリックして、英語以外の言語を選択します。

c. [**Next**] をクリックしてウィザードを進め、[**Yes**] をクリックしてライセンス契約に同意します。

d. 以下の選択肢を必要なだけ選択し、画面のインストール指示にしたがいます。

- *コアアプリケーション* — データ CD と音楽用 CD を作成するアプリケーションをインストールします。また、CD-RW または DVD+RW のアクセス用のドライブ文字を指定します。

注記 コアアプリケーションをインストールしない場合は、CD 媒体または DVD 媒体には書き込みができません。

- *Sonic MyDVD* — オリジナルのビデオ DVD を作成するためのソフトウェアをインストールします。
- *HP Simple バックアップ* — 自動バックアップとディザスタリカバリ用ソフトウェアをインストールします。
- *PowerDVD* — ビデオとムービーの DVD プレイヤーをインストールします。

e. インストールウィザードが完了したら、システムを再起動してインストールを終了します。

- [**Exit**] を選択します。
- アプリケーション CD を取り出し、応答を促されたら [**Yes**] をクリックします。

注記 インターネット接続にプロキシを使う場合は、RecordNow を手動で調整する必要があります。ソフトウェアのインストールが終わりシステムを再起動したら、RecordNow を起動して [**Options**] をクリックします。[**CDDB**] タブを選択して [**Use a Proxy Server**] をチェックします。ご自分のロケーションに対応する正しいプロキシ情報を入力します。

ビデオカードとモニターの構成

ワークステーションと一緒に出荷されるビデオカードはすべて、複数のリフレッシュレート、解像度、色数 (Color Depth) をサポートしています。

ビデオ設定を構成するには、Windows の**コントロールパネル**にアクセスして [**画面**] を選択します。

詳細は、カード付属の説明書を参照してください。

2　トラブルシューティング

この章では、問題が発生した場合に、ワークステーションを立ち上げて稼働させるのに役立つ基本的な情報を説明します。

共通的な問題の解決

ここでは、hp workstation xw8000 に関する共通的な問題の診断と解決について説明します。

- 39 ページの「ワークステーションが正常に起動しない」
- 41 ページの「ハードウェアの問題」
  - 41 ページの「キーボードとマウスの問題」
  - 42 ページの「ビデオの問題」
  - 43 ページの「オプティカルドライブの問題」
  - 45 ページの「オーディオの問題」
- 46 ページの「パスワードを忘れた場合」
- 47 ページの「E ブザーのビープコード」

詳細は、HP の Web サイト **http://www.hp.com/go/bizsupport** にある『*hp workstation xw8000 Technical Reference Guide*』を参照してください。

問題が解決されない場合は、Diagnostics for Windows (50 ページ参照) を実行し、カスタマサポートに連絡してください。

ワークステーションが正常に起動しない

表 2-1　ワークステーションが正常に起動しない

<table>
<tr><td colspan="2">システムに電源が入らない。</td></tr>
<tr><td>確認事項</td><td>確認方法</td></tr>
<tr><td>システムの電源コードが適切に接続されているか。</td><td>電源コードを、通電されているコンセントからシステムの背面に接続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">POST でエラーが発生する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源投入時の自己診断 (POST) では、構成のエラーと変更が検出されることがあります。いずれの場合もコードと短い説明が表示されます。</td></tr>
<tr><td>確認事項</td><td>確認方法</td></tr>
<tr><td>メッセージを読み適切な動作を選択する。</td><td>メッセージを無視して処理を続けるには、[F1] を押す。
Setup プログラムを実行してシステム構成の誤りを修正するには、[F2] を押す。
メッセージの詳細を表示するには、[Enter] を押す。詳細が表示されると、元の POST 表示画面に戻る。
注記：POST エラーのリストと対応した解決案が、HP の Web サイト (http://www.hp.com/go/bizsupport) にある『hp workstation xw8000 Technical Reference Guide』に説明してありますので参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">問題が解決されない場合は、50 ページの「Diagnostics for Windows の使用方法」を参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">1 回またはそれ以上のビープ音があり、システムがブートしない。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワークステーションが起動する際、ハードウェアに問題がないか診断されます。重大な問題が検出された場合は、ビープ音で知らせます。</td></tr>
<tr><td>確認事項</td><td>確認方法</td></tr>
<tr><td>ビープ音の回数を数え、エラーと対策案を判断する。</td><td>47 ページの「E ブザーのビープコード」を参照する。</td></tr>
</table>

表 2-1 ワークステーションが正常に起動しない (続き)

ディスプレイに何も表示されない。	
確認事項	*確認方法*
ワークステーションとモニターの電源コードはしっかりと接続されているか。	電源コードを、電源がきているコンセントからシステムの背面とディスプレイに接続する。
コンセントに電気が通っているか。	コンセントに接続されている、電灯のスイッチ、配電ユニット、サージプロテクタなどをオンにしてみる。
ワークステーションとモニターの電源がオンになっているか。(電源 LED が点灯しているか)	電源ボタンを使ってワークステーションとディスプレイをオンにする。配電ユニットがオンになっていることを確認する。

ハードウェアの問題

表 2-2　キーボードとマウスの問題

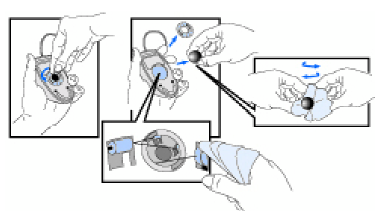
キーボードが動作しない。	
確認事項	*確認方法*
キーボードのケーブルが正しく接続されているか。	キーボードが、間違ってワークステーションの背面パネル上のマウスコネクタに接続されていないか。
キーボードに異物が挟まってていないか。	キーの高さがすべて揃っており、引っ込んでいるキーがないこと。
キーボード自体が故障していないか。	動作の確認されているキーボードと交換してみる、またはキーボードを別のシステムで使用してみる。
マウスが動作しない。	
確認事項	*確認方法*
マウスのケーブルが正しく接続されているか。	マウスが、間違ってワークステーションの背面パネル上のキーボードコネクタに接続されていないか。
正しいドライバを使用しているか。	HP の Web サイト (**http://www.hp.com/go/bizsupport**) から最新のドライバをダウンロードする。
マウスはきれいになっているか。	下図のようにマウスのボールを清掃する。 
マウス自体が故障していないか。	動作の確認されているマウスと交換してみる、またはマウスを別のシステムで使用してみる。
システムは起動するが、問題が解決されない場合は、50 ページの「Diagnostics for Windows の使用方法」を参照してください。	

表 2-3 ビデオの問題

システムの電源インジケータは点灯するが、モニターには何も表示されない。	
確認事項	*確認方法*
モニターの電源スイッチがオン (LED 点灯) になっているか。	LED 信号の意味については、モニターの説明書を参照する。
モニターの電源コードは正しく接続されているか。	電源コードは、通電されているアース付きコンセントからディスプレイに接続されているか確認する。
グラフィックスカードがインストールされ、モニター (ビデオ) ケーブルが正しく接続されているか。	ビデオケーブルが、システムとモニターの両方に適切に接続されていることを確認する。ケーブルは、グラフィックスカードのコネクタに接続されていることを確認する。
モニタの輝度とコントラストが正しく設定されているか。	モニターの OSD (on-screen display) またはモニタ前面のコントロールを使って、設定をチェックする。
ディスプレイは POST 中は正しく動作するが、Windows が起動すると何も表示しない。	
確認事項	*確認方法*
Windows のディスプレイ設定は、モニターに合っているか。	1. 次のようにしてワークステーションを VGA モードで再起動する。 a. POST が終わって画面の下部に「**Windows を起動しています ...**」メッセージが表示されたら、すぐに [**F8**] を押す。 b. [**Windows Advanced Options Menu**] メニューで、[**Enable VGA Mode**] を選択する。 2. Windows が起動したら、コントロールパネルのディスプレイプロパティでディスプレイの設定を変更する。詳細は、OS とモニターの説明書を参照してください。

表 2-4 オプティカルドライブの問題

ワークステーションが CD-ROM または DVD からブートしない。	
確認事項	*確認方法*
CD または DVD からのブートを Computer Setup ユーティリティで有効にしてあるか。	Setup プログラムを実行してリムーバブルメディアからのブートを有効にし、ブート順序の設定を確認する。26 ページの「Setup プログラムのメニュー」を参照してください。
ブート CD がオプティカルドライブに入っているか。	ブート CD をオプティカルドライブに入れる。
CD または DVD デバイスが検出されないか、またはドライバがロードされていない。	
確認事項	*確認方法*
ドライブが接続され、適切に構成されているか。	HP の Web サイト (**http://www.hp.com/go/bizsupport**) にある『*hp workstation xw8000 Technical Reference Guide*』を参照する。
DVD ドライブでムービーが再生できない。	
確認事項	*確認方法*
デコーダソフトウェアが適切にインストールされているか。	デコーダソフトウェアをインストールする。35 ページの「オプティカルドライブのアプリケーションソフトウェアのロード」を参照してください。
CD を排出できない。	
確認事項	*確認方法*
ディスクがドライブに正しくセットされているか。	コンピュータの電源をオフにし、緊急排出用の穴に細い金属棒を挿入してしっかり押す。ドライブからトレイをゆっくり引っ張って完全に引き出し、CD を取り出す。

表 2-4 オプティカルドライブの問題 (続き)

<table>
<tr><th colspan="2">オプティカルドライブがディスクを読めない、または起動までに時間がかかり過ぎる。</th></tr>
<tr><td colspan="2">DVD ドライブの起動時間は、再生するメディアがオーデオなのかビデオなのかなど、その種類を特定する時間を要するため、長くなります。DVD ドライブが再生するメディアの種類を特定している間、少なくとも 30 秒は待ってください。待っていてもドライブが起動しない場合は、以下の解決策を読んでください。</td></tr>
<tr><td>確認事項</td><td>確認方法</td></tr>
<tr><td>ディスクはラベル面を上にして挿入されているか。</td><td>ラベル面を上にして CD を挿入し直す。</td></tr>
<tr><td>ディスクに汚れや傷がないか。</td><td>CD または DVD を、一般に市販されているクリーニングキットを使用して清掃する。</td></tr>
<tr><td>Windows がドライブを検出しているか。</td><td>1. Device Manager を使って問題のデバイスを外すかアンインストールする。
2. コンピュータを再起動して Windows にオプティカルドライブを検出させる。</td></tr>
<tr><th colspan="2">CD に記録できない。</th></tr>
<tr><td>確認事項</td><td>確認方法</td></tr>
<tr><td>メディアの種類は正しいか。</td><td>• ドライブに合ったメディアかどうか確認する。
• 別メーカーのメディアを使ってみる。品質はメーカーによって異なります。</td></tr>
<tr><td>正しい速度で記録しているか。</td><td>音を CD に記録する際は、低速で試してみる。</td></tr>
<tr><td>正しいソフトウェアがインストールされているか。</td><td>アプリケーション CD からソフトウェアをインストールする。35 ページの「オプティカルドライブのアプリケーションソフトウェアのロード」を参照してください。</td></tr>
</table>

表 2-5 オーディオの問題

音が出ない。	
確認事項	*確認方法*
ソフトウェアボリュームコントロールで、音を小さくしていないか、またはミュート状態にしていないか。	タスクバーのスピーカのアイコンをダブルクリックし、ボリュームスライダでボリュームを調節する。ミュートになっている場合は、[ミュート] チェックボックスのチェックを外す。
スピーカまたはオプティカルドライブのボリュームコントロールで、音を小さくしていないか。	スピーカまたはオプティカルドライブにボリュームコントロールのノブがある場合は、ノブをボリュームが大きくなる向きに回す。
外部スピーカが、正しいオーディオジャックに差し込んであるか。	外部スピーカのプラグを、前面パネルまたは背面パネルの正しいポートに差し込む (12 ページ参照)。
オプティカルドライブのオーディオケーブルが適切に接続されているか。	CD ドライブまたは DVD-ROM ドライブとシステムボード間をオーディオケーブルで接続する。HP の Web サイト (**http://www.hp.com/go/bizsupport**) にある『*hp workstation xw8000 Technical Reference Guide*』を参照してください。
ライン出力コネクタに接続されているヘッドホンまたはスピーカによって、内部スピーカがミュート状態になっていないか。	ヘッドホンまたは外部スピーカ (接続されている場合) をオンにして使用するか、ヘッドホンまたは外部スピーカの接続を外す。
ワークステーションがスタンバイモードになっていないか。	電源ボタンを押してスタンバイモードから復帰させる。
スピーカまたはヘッドホンから音もノイズも聞こえない。	
確認事項	*確認方法*
ワークステーションが、スピーカ / ヘッドホンのタイプを正しく検出しているか。AD 変換の自動検出が働いているか。	• ステレオジャックを備えたデジタルスピーカを使っていて、システムで自動的にデジタルに切り替わるようになっている場合、ステレオからモノラルへの変換アダプタを使用して自動検出機能が働くようにする。 • ステレオからモノラルへの変換アダプタが入手できない場合は、マルチメディアデバイスのプロパティを使って、オーディオ信号をアナログからデジタルに手動で切り替える。 • ヘッドホンにモノラル用ジャックがある場合は、マルチメディアデバイスのプロパティを使って、システムをアナログ出力に切り替える。

パスワードを忘れた場合

ワークステーションの BIOS パスワードを忘れた場合、新しいパスワードを設定する前に以前のパスワードを消去する必要があります。

注記　このパスワードは、Windows のログイン用パスワードでは**ありません**。第 1 章で説明した Setup プログラムメニューへのアクセスを制限するためだけに使用されます。ワークステーションの Windows ログインパスワードを忘れた場合の対処方法はオペレーティングシステムの説明書を参照してください。

BIOS ユーザーパスワードの消去

ユーザーパスワードは忘れたが、管理者パスワードを覚えている場合は、セットアップメニューを使ってユーザーパスワードを消去できます。

ユーザーパスワードの消去は次のように行います。

1. Setup プログラムを起動します (28 ページ)。
2. メッセージに応じて管理者パスワードを入力します。
3. [**Security Menu -> Clear all Passwords**] を選択します。
4. 必要に応じて新しいユーザーパスワードを入力して確認します。
5. [**Esc**] を押して Security メニューから抜けます。
6. [**Exit -> Exit Saving Changes**] を選択して変更内容を保存します。

BIOS 管理者パスワードの消去

BIOS 管理者パスワードの消去は次のように行います。

1. ワークステーションの電源をオフにして、左のサイドパネルを外します (『*hp workstation xw8000 Technical Reference Guide*』参照)。
2. システムボード上のスイッチブロックの**スイッチ 1** を、[**ON**] に設定します (スイッチ位置は左サイドパネルの内側にあるラベルを参照)。
3. ワークステーションの左サイドパネルを元に戻します。
4. ワークステーションの電源を入れ、メッセージが出たら [**Esc**] を押して Summary ページを表示させます。

5. パスワードが消去された旨のメッセージが表示されたら、ワークステーションの電源を切り左サイドパネルを外します。
6. システムボード上のスイッチブロックの**スイッチ 1** を、[**OFF**] に設定します。
7. ワークステーションの左サイドパネルを元に戻します。
8. 新しいパスワードを設定するときは、28 ページの「パスワードの設定」に従ってください。

E ブザーのビープコード

ワークステーションが起動すると、ハードウェアに問題がないかテストが行われます。問題が検出されると、E ブザーはビープを発するとともに符号化されたエラー信号を発生します。エラー信号は、正式のヘルプデスクや HP サポートに電話回線で送ることができます。この信号をヘルプデスクの装置でデコードすれば、ワースステーションのモデル、シリアル番号、および障害の詳細を知ることができます。この信号を HP サポートに送るには、システムを起動する際、システムのフロントベゼル上のスピーカの近くに電話機を置いておきます。

表 2-6 E ブザーのビープコード

ビープ音の数	コンポーネント	エラー	解決策
1	プロセッサ	プロセッサなし、接続不正	HP カスタマケアに連絡。55 ページの「サポートを受けるには」参照
2	電源装置	電源装置が保護モードになっている。	HP カスタマケアに連絡。55 ページの「サポートを受けるには」参照

表 2-6 E ブザーのビープコード (続き)

ビープ音の数	コンポーネント	エラー	解決策
3	メモリー	メモリーなし、メモリーモジュール不良、または互換性のないメモリー	1. 新しくインストールした RAM をいったん外し取り付け直す。メモリーの取り付け順序が正しいことを確認する。 2. 問題が解決しない場合は、HP カスタマケアに連絡するかシステム RAM を交換する。 55 ページの「サポートを受けるには」を参照するか、HP の Web サイト (**http://www.hp.com/go/bizsupport**) にあるワークステーションの『*hp workstation xw8000 Technical Reference Guide*』を参照してください。
4	ビデオカード	グラフィックスカードの障害	1. グラフィックスカードをいったん外し取り付け直す。 2. 問題が解決しない場合は、グラフィックスカードを外し良品と交換する。
5	PCI カード	PCI カードの初期化の問題	1. 障害の原因になっている PCI カードが見付かるまで、PCI カードを外していく。 2. 問題のカードをいったん外して取り付け直す。 3. 問題が解決しなければ、その故障した PCI カードを交換する。

表 2-6 E ブザーのビープコード (続き)

ビープ音の数	コンポーネント	エラー	解決策
6	BIOS	BIOS 不良	BIOS の Boot Block Recovery を実行する。HP の Web サイト (**http://www.hp.com/go/bizsupport**) にあるワークステーションの『*hp workstation xw8000 Technical Reference Guide*』を参照してください。
7	システムボード	マザーボード不良	HP カスタマケアに連絡。55 ページの「サポートを受けるには」を参照してください。

Diagnostics for Windows の使用方法

Diagnostics for Windows は、Windows で使用するシステム情報と診断のユーティリティで、次の目的で使用します。

- システム情報の表示
- システムコンポーネントのテスト
- デバイス構成上の問題のトラブルシューティング

注記　保証サービスを受ける際、当社にお問い合わせをいただく前に Diagnostics for Windows を実行してください。Diagnostics for Windows を使用すると、サポート担当者が必要とする情報を得ることができます。

このユーティリティでは、次の 2 種類のシステムスキャンがあります。

- **Configuration Record**（構成レコード）では、このユーティリティをインストールした時点の経過構成と現在の構成とを比較します。
- **Diagnostics**（診断）では、現在の構成のより完全な情報と、同時に、コンポーネントのテストにおけるオプションを提供します。メニューバーの**レベル**を選択することによって、いずれの診断においても表示する情報量を増減できます。

注記　両システムスキャンは、HP のコンポーネントについて報告するように設計されています。HP コンポーネント以外のコンポーネントをスキャンした場合は、結果が不明確になる可能性があります。

Diagnostics for Windows のインストール

Diagnostics for Windows は次の手順でインストールします。

1. Windows アプリケーションをすべて閉じます。
2. インストールの手順はオペレーティングシステムによって異なります。

   Windows XP Professional では次の手順でインストールします。

   a. [**スタート -> すべてのプログラム -> Software Setup**] を選択します。[**Next**] をクリックします。

   b. 画面の指示に従います。

   Windows 2000 Professional では次の手順でインストールします。

   a. デスクトップ上で [**Setup HP Software**] のアイコンをダブルクリックします。

   b. [**Next**] をクリックして画面の指示に従います。

3. インストールを完了させるには、ワークステーションを再起動する必要があります。再起動は、ワークステーションから要求される場合と、自動的に行われる場合とがあります。

Diagnostics for Windows の実行

1. 次のようにして Diagnostics for Windows を起動します。
   - *Windows 2000 Professional* では、[**スタート -> 設定 -> コントロールパネル -> Diagnostics for Windows**] を選択します。
   - *Windows XP Professional* では、[**スタート -> コントロールパネル -> Performance and Maintenance -> Diagnostics for Windows**] を選択します。
2. [**Categories**] メニューから、調べたい領域を選択します。
   - 情報を保存する場合は、[**File -> Save As**] を選択します。
   - 情報を印刷する場合は、[**File -> Print**] を選択します。
3. Diagnostics を閉じるには、[**File -> Exit**] を選択します。

診断テスト情報の生成

診断テスト情報を生成、保存、印刷するには、次のようにします。

1. Diagnostics for Windows を起動して、[**Test**] タブを選択します。
2. テストしたいカテゴリまたはデバイスを選択します。
3. 実行するテストを次のようにして指定します。

   a. テストのタイプを指定します。

      - **Quick Test** では、選択されたカテゴリ内の各デバイスについて、簡略な、一般的なテストを行います。
      - **Complete Test** では、選択されたカテゴリ内のすべてのデバイスについて、最大限のテストを行います。
      - **Custom Test** では、選択されたデバイスについて、最大限のテストを行います。

   b. テストのモードを選択します。

      - **Interactive モード**では、テストプロセスに対して細かい制御ができます。テストの合格 / 不合格を定義しておけば、デバイスを挿入するのか、または削除するのかを尋ねてきます。
      - **Unattended モード**では、プロンプトは表示されません。エラーが見付かった場合は、テスト終了後に表示されます。

4. 選択したテストを実行するには、[**Begin Testing**] をクリックします。
5. テスト結果を表示、保存または印刷するには、タブを選択して [**Save**] または [**Print**] ボタンをクリックします。

   - [**Status Tab**] タブでは、現在のテストセッションで、実行、合格、および失敗したテスト内容をまとめます。
   - [**Log Tab**] タブでは、システムで実行したテスト、各テストの実行回数、各テストで検出されたエラー数、および各テストの合計実行時間をリストします。

注記	[**Log**] タブには [**Print**] ボタンはありません。ログを保存して、Windows のエクスプローラから印刷してください。

   - [**Error**] タブでは、検出されたすべてのエラーをエラーコード付きでリストします。

OS とソフトウェアを CD から復元

ワークステーションに付属している CD を使用すれば、元の OS と工場でインストールされたソフトウェアを復元することができます。CD に付属の説明書をご覧ください。CD に関する問題や疑問がある場合は、HP カスタマケアにご連絡ください (55 ページの「サポートを受けるには」参照)。

警告	**リカバリ CD を使用すると、ハードドライブの内容が完全に消去されます。リカバリ CD を使用する前に、必ずデータおよび作成したファイルのバックアップを行ってください。**

ワークステーションのハードウェア特性

注記 動作時の温湿度の範囲は、インストールされている大容量記憶装置によって異なります。湿度レベルが高いと、ディスクドライブの動作不良の原因となることがあります。湿度が低いと、静電気による問題が増加したり、ディスク表面が過度に磨耗したりすることがあります。

前面パネルの電源ボタンでワークステーションの電源を切ると、消費電力は 10 W 以下に下がりますが、ゼロにはなりません。コンピュータの電源をオフにしたときの消費電力をゼロにするには、ワークステーションの電源プラグをコンセントから抜くか、スイッチ付きの配電ユニットを使用します。

表 2-7 ワークステションのハードウェア特性

重量	18-23 kg (40-50 lb.)。構成により異なる。
寸法 :	
タワー型	高さ 449 mm (17.7 インチ)、幅 210 mm (8.3 インチ) 奥行き 515 mm (20.3 インチ)
ラックマウント型 (化粧足を外した状態)	高さ 210 mm (8.3 インチ)、幅 440 mm (17.3 インチ) 奥行き 515 mm (20.3 インチ)
床面積	1,081.50 平方センチ (168.5 平方インチ)
電源装置 :	
入力電圧	オートレンジ 100-250V
入力周波数	50-60 Hz
最小効率	65%
最大入力電力	692W
最大出力電力	450W
動作湿度	15% ～ 80% (相対湿度、結露なきこと)、温度 35° C (95° F)
保存温度	-40° C (-40° F) ～ 70° C (158° F)
動作温度	10° C (50° F) ～ 35° C (95° F)
高度	動作時 : 0 m ～ 3,100 m (10,000 フィート) 非動作時 : 0m ～ 4,600 m (15,000 フィート)

サポートを受けるには

HP カスタマケアセンターでは、当社製品についての問題を解決するためのサポートを行っています。また、必要に応じて適切なサービス手続きを開始します。サポートは Web でも電話でも利用することができます。

HP カスタマケアセンターの連絡先は、『保証規定 (サービスおよびサポートを受けるには)』または次の Web サイトを参照してください。

http://www.hp.com/go/bizsupport (英語)

http://www.jpn.hp.com (日本語)

関連資料

以下の資料を用意しています。

- *インストールポスター* : ワークステーションのセットアップについて基本的なことを説明しています。
- *スタートアップガイド* (本書) : ワークステーションのセットアップ、構成、及び基本的なトラブルシューティングについて説明しています。
- *Technical Reference Guide* : ワークステーションのインストール、パーツ交換、トラブルシューティング、および構成について詳細に説明しています。
- *Illustrated Parts Map* : サポートしているパーツとアクセサリをリストし、基本的な BIOS 設定とメニュー、を表にしています。
- *Safety and Comfort Guide* : ワークステーションをけがや不快感がなく安全にご使用いただくための情報があります。
- *保証規定 (サービスおよびサポートを受けるには)* : ワークステーションの保証と HP カスタマケアに関する情報があります。
- *Recovery CD Instructions* : ワークステーションを出荷時点の構成に復旧させる必要が生じた場合に、オペレーティングシステムを CD から復元する方法を詳細に説明しています。

以上の資料、オンラインサポート情報、ファームウェアのアップグレード、およびドライバは、HP の Web サイト (**http://www.hp.com/go/bizsupport**) から入手できます。

この Web サイトにアクセスしてから、所望のハードウェアを選択します。なお、印刷本として発行されているものもあります。

A　規制に関する情報

Declaration of Conformity
according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer: Hewlett-Packard Company
3404 East Harmony Rd.
Fort Collins, CO 80528
USA

Declares that the:

Product Type: Computer Workstation/Server
Marketing Designation(s): xw5000 and xw8000
Regulatory Model Number: fclsa-0203
Product Options: all

conforms to the following specifications:

Safety
IEC 60950:1991+A1+A2+A3+A4/EN 60950:1992+A1+A2+A3+A4
IEC 60825-1:1993/EN60825-1:1994+A11 Class 1 for LED's and Lasers
U.S.A 21CFR Subpart J – for FC Laser module
China GB4943-1995
Russia GOST R 50377-92

EMC
CISPR 22: 1997 / EN 55022: 1998 Class A
CISPR 24: 1997 / EN 55024: 1998
Also compliant with...
EN 61000-3-2: 1998
EN 61000-3-3: 1995
EN 61000-4-2: 1999 - 4 kV CD, 8 kV AD
EN 61000-4-3: 1996 - 10 V/m
EN 61000-4-4: 1995 - 2 kV Signal, 4 kV Power Lines
EN 61000-4-5: 1995 - 1 kV Differential mode, 2 kV Common mode
EN 61000-4-8: 1993 - 3 A/m
EN 61000-4-11: 1994
U.S.A FCC Part 15, Class A
Japan VCCI Class A
Australia/New Zealand AS/NZS 2046:1997, AS/NZS 3548:1995
China GB9254-1988
Region of Taiwan CNS 13438:1997 Class A
Russia GOST R 29216-94

and is certified or verified by:
UL Listed to UL1950, 3nd edition, File E146385
cUL Listed to CSA 22.2 No. 950-M93
TUV Certified to EN60950 2nd edition with A1+A2+A3+A4
HP Fort Collins CCQD HTC

Supplementary information:
The product herewith complies with the requirements of the following Directives: Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC directive 89/336/EEC and carries the CE marking accordingly.
This product was tested in a typical Hewlett-Packard system configuration.

For Compliance Information ONLY, contact: European Contact: Hewlett-Packard, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Boeblingen (FAX: +49-7031-14-3143)
Americas Contact: Hewlett-Packard, WGBU Quality Manager., 3404 E. Harmony Road, Fort Collins, CO 80528, U.S.A. (FAX: (970) 898-4556)

規制に関する情報

規制に関する情報

Federal Communications Commission Radio Frequency Interference Statement (for USA only)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules and the Canadian Department of Communications. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Hewlett-Packard's FCC Compliance Tests were conducted with HP-supported peripheral devices and HP shielded cables, such as those you receive with your system. Changes or modifications not expressly approved by Hewlett-Packard could void the user's authority to operate the equipment.

Notice for Canada

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.
Cet appareil numérique de la Class A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Safety Warning for the USA and Canada

If the power cord is not supplied with the computer, select the proper power cord according to your local national electric code.
USA: use a UL listed type SVT detachable power cord.
Canada: use a CSA certified detachable power cord.

For your safety, never remove the system's cover without first removing the power cord and any connection to a telecommunication network. Always replace the cover before switching on again.

規制に関する情報

Si le cordon secteur n’est pas livré avec votre ordinateur, utiliser un cordon secteur en accord avec votre code électrique national.
USA: utiliser un cordon secteur « UL listed »,de type SVT.
Canada: utiliser un cordon secteur certifié CSA.

Pour votre sécurité, ne jamais retirer le capot de l’ordinateur sans avoir préalablement débranché le cordon secteur et toute connection à un réseau de télécommunication. N’oubliez pas de replacer le capot avant de rebrancher le cordon secteur.

Notice for France

Il y a danger d’explosion s’il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d’un type équivalent recommandé par le constructer. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant.

Notice for the Netherlands

Bij dit apparaat zijn batterijen geleverd. Wanneer deze leeg zijn, moet U ze niet weggooien maar inleveren als KCA.

Notice for Germany

Wenn die Batterie nicht korrekt eingebaut wird, besteht Explosionsgefahr. Zu ihrer eigenen Sicherheit sollten Sie nicht versuchen, die Batterie wiederaufzuladen, zu zerlegen oder die alte Batterie zu verbrennen. Tauschen Sie die Batterie nur gegen den gleichen oder ähnlichen Typ aus, der vom Hersteller empfohlen wird. Bei der in diesem PC intergrierten Batterie handelts sich um eine Lithium-Batterie, die keine Schwermetalle enthält. Batterien und Akkumulatoren gehören nicht in den Hausmüll. Sie verden vom Hersteller, Händler oder deren Beauftragten kostenlos zurückgenommen, um sie einer Verwertung bzw. Entsorgung zuzuführen.

Noise Declaration for Germany

Lärmangabe nach Maschinenlärmverordnung - 3 GSGV (Deutschland) LpA < 70 db am Arbeitsplatz normaler Betrieb nach EN27779: 11.92.

規制に関する情報

日本の VCCI 規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Notice for Korea

사용시 안내문 (A급 기기)

이 기기는 업무용으로 전자파장해검정를 받은
기기이오니,만약 잘못 구입하셨을 때에는 구입
한 곳에서 비업무용으로 교환하시기 바랍니다.

Notice for Taiwan

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

規制に関する情報

電源について

製品をアースする

製品をアースする製品には、アース用に第 3 のピンを持つ 3 極プラグが装備されています。このプラグは、3 極用の電源コンセントにのみ使用できます。これは、安全機能の一つですが、製品に付属の 2 極アース付き国内変換プラグを使って、一般の電源コンセントに接続することができます。この際は、必ずプラグのアース線を接続してください。

電源コード

お使いのコンピュータを AC 電源に接続するための電源コードがない場合は、日本の国内規格に適合した電源コードをご購入ください。

電源コードは、お使いの製品用のものを使用してください。また、製品に表示された定格電圧 / 電流より大きい定格電圧 / 電流のコードを選んでください。また、直径 0.75mm2/18AWG 以上、長さが 1.5 ～ 2 メートルのコードを使用してください。電源コードの種類については、HP の正規保守代理店にお問い合わせください。電源コードを配線する場合は、踏みつけたり、つまずいたり、物を置いて押しつけたりすることのないようにします。また、プラグ、電源ソケットやコンセント、製品との接続部分の取り扱いに注意してください。

電源コンセントの場所

電源コードのプラグを差し込むコンセントは、できるだけコンピュータに近い、すぐ手の届くところのものを使用します。またコンピュータから完全に電源を切る必要があるときは、コンピュータ本体の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。

A

Alt キー , 27

B

BIOS, 30, 46, 49
BIOS Setup プログラム , 31
BIOS バージョン , 31

C

CD, 26, 35, 43
CD-RW, 35
CD-RW または DVD+RW メディアへの書き込み , 35, 44
Ctrl キー , 27

D

Diagnostics for Windows, 50
DVD, 26, 35, 43
DVD+RW, 35
DVD ムービー , 35, 43
DVD ムービーの再生 , 35

E

Easy Access キー , 28
Easy Access キーボード , 27, 28
ERD, 23
E ブザーコード , 47

F

F2 キー , 31
FireWire, 17, 19

I

IEEE-1394, 17

L

LAN, 17, 20
LED, 26, 27

O

OS の復元 , 53

P

PCI カード , 48
POST, 24, 31, 39
PS2, 17

S

SCSI ポート , 18
Setup, 15, 16, 23, 24, 30, 31, 35, 36

U

USB, 17, 19, 41

W

Windows ロゴキー , 27, 29

あ

アプリケーションキー , 28
安全性 , 11, 16, 20

い

インターネット接続 , 36

え

エラービープ音 , 39, 47

お

オーディオ , 17, 19, 43, 44, 45
音 , 17, 19, 43, 44, 45
オプティカルドライブ , 26, 35, 43
温度 , 54

か

カスタマケア , 55
カバー , 11
環境 , 54

き

キー , 27
キーボード , 17, 27, 41
技術的なサポート , 55
規制 , 57
休止 , 34
共通的な問題 , 38
緊急リペアディスク , 23

く

グラフィックス , 42
グラフィックスカード , 16, 17, 19, 36, 48

索引

こ
工具 , 16
構成 , 30, 31, 35, 36
コネクタ , 16, 17, 19
コントロールパネル , 26
コンポーネントの接続 , 16

さ
サポート , 55
サポート Web サイト , 55

し
システムボード , 49
湿度 , 54
シャットダウン , 25
重量 , 54
仕様 , 54
シリアルポート , 17, 19
診断 , 50

す
スタンバイ , 34
スピーカ , 17, 19, 45

せ
静電気 , 12
セキュリティ , 33
前面パネルのコネクタ , 19

そ
ソフトウェア , 23, 28, 35, 50
ソフトウェアのインストール , 23, 35, 50, 51

て
電気的 , 11
電源 , 17, 20, 25, 26, 32, 34, 39, 40, 42
電源管理 , 25, 34
電源コード , 39
電源装置 , 47, 54
電源投入時のテスト , 24, 31, 39
電池 , 12

と
ドキュメント , 55
ドライバ , 23
トラブルシューティング , 37, 38

に
人間工学 , 12

ね
ネットワークポート , 17, 20

は
ハードウェア仕様 , 54
ハードドライブ , 27
背面パネルのコネクタ , 17, 18
パスワード , 30, 32, 33, 46
パラレルポート , 17, 19

ひ
ビープ音 , 39, 47
ビデオ , 42
ビデオカード , 16, 17, 19, 36, 48

ふ
ファンクションキー , 27, 31
ブート , 30
ブートオプションの設定 , 43
ブート順序の設定 , 30, 32
プリンタポート , 17, 19
プロキシサーバー , 36
プロセッサ , 47
フロッピードライブ , 26

へ
ヘッドホン , 17, 19, 45
ヘルプ , 55

ほ
ボリューム , 45

ま
マイク , 17, 19, 45
マウス , 17, 27, 41
マザーボード , 49
マニュアル , 55

む
ムービー , 35, 43

め

メモリー , 48

も

モニター , 17, 19, 36, 40, 42
問題 , 38

や

火傷 , 12

ゆ

床面積 , 54

り

リカバリ CD, 53
リサイクル , 13
リセット , 26
リセットボタン , 27

わ

ワークステーションが起動しない , 39
ワークステーションの起動 , 21, 23